

体感！ 金沢の旅

#建築文化

実施日

2026年11/21^{〔土〕}

集合 12:55 解散 16:00

参加費(消費税込)

3,000円(お1人様)

【参加費に含まれるもの】案内料、成巽閣入館料、カフェ代

定員 15名／最少催行人数6名



谷口吉郎・吉生記念
金沢建築館 学芸員
高木 愛子さん
&
山田 尚史さん

谷口吉郎の設計思想を専門に研究。建築の細部に込められた「金沢のデザインDNA」を、地元ならではの視点で分かりやすく解説します。



©石川県観光連盟

昭和 いしかわ生活工芸ミュージアム(谷口吉郎氏設計)

「保存」から生まれる、 金沢の新しい景観

金沢生まれの建築家・谷口吉郎。戦後の金沢に残る歴史や文化の価値に目を向け、古いものを守りながら新しい時代につなげていくことの大切さを説きました。その思想は、現在の金沢の景観やまちづくりにもつながっています。

歩いたあとの、もうひとつの楽しみ

ツアーの最後は、カフェ＆ブラスリー ポール・ボキューズ。この日出会った建築や風景を振り返りながら、専門家と疑問や気づきを語り合い、旅の余韻を楽しみます。

江戸から平成まで、5つの時代を建築でたどる 金沢建築散歩



しいのき迎賓館 大正時代のレンガが印象的な表側 大正(正面)



しいのき迎賓館 ガラス越しに金沢城の石垣を望むモダンな裏側 平成(背面)

徒歩圏内に、江戸から平成まで5つの時代の建築が凝縮！歴史ある建物を現代に活かす、金沢ならではの「街づくり」を体験するツアーです。案内人は谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館の学芸員。ただ見るだけでは気づけない背景や工夫を読み解きながら巡ります。成巽閣の特別公開やカフェ＆ブラスリー ポール・ボキューズでの建築の余韻に浸るカフェタイムもお楽しみに。



明治 国立工芸館

軍都の記憶を、文化の拠点へ

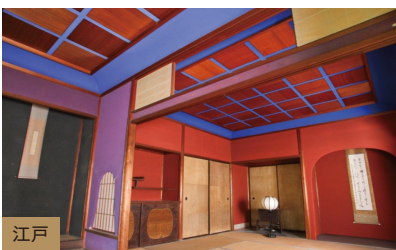
江戸時代、藩主が暮らし、藩政の中心だった金沢城は、明治に入ると陸軍の駐屯地に。今は、その陸軍施設が移築され国立工芸館、県立博物館など文化・工芸の魅力を発信する拠点へと生まれかわっています。



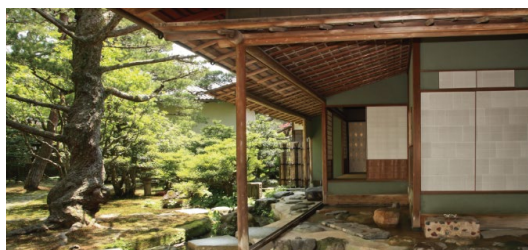
平成 金沢21世紀美術館

「まちに開かれた」美術館

誰もが気軽に立ち寄れる「公園のような美術館」を目指してつくられた金沢21世紀美術館。新しい建築が人を呼び、まちに新たな賑わいを生み出しています。



江戸



加賀百万石の美意識を今に「成巽閣」の特別公開

鮮やかな「群青の間」に込められた美意識をはじめ、特別公開の「清香軒」「清香書院」をご覧ください。北陸の気候に対応した知恵と工夫が息づく茶室を訪ね、時を超えて受け継がれる建築の美と職人の技に触れます。

行程

いしかわ生活工芸ミュージアム(外観) (12:55) 徒歩 > 成巽閣特別公開(入場) 徒歩 > 石川県立歴史博物館 国立工芸館(外観) 徒歩 > 金沢21世紀美術館(無料エリア) 徒歩 > しいのき迎賓館カフェ＆ブラスリー ポール・ボキューズでカフェタイム (16:00)

お申込み

詳細・お申込み
「かなざわ自由時間」を
ご覧ください。



企画・実施 一般社団法人金沢市観光協会
金沢市木ノ新保町1-1

電話 (076)232-5555
(平日 9:00~17:45)